

各学年で開講する教職に関する科目と到達目標

高一種免【数学】

	実施時期	1年	2年	3年	4年
教育の基礎的理解に関する科目	前期	◎ 教職概論	◎ 教育心理学 ◎ 教育制度論	◎ 情報と職業 ◎ 生徒指導・進路指導論	
	後期	◎ 教育原理	◎ 教育課程編成論 ◎ 教育方法論	◎ 特別活動論 ◎ 教育相談論	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	前期			◎ 総合的な学習の時間の理論と方法 ◎ 生徒指導・進路指導論	
	後期		◎ 道徳教育の理論と方法 ◎ 教育方法論	◎ 教育相談論 ◎ 特別活動の理論と方法	
教育実践に関する科目	前期			◎ 教育実習 I（通年科目）	◎ 教育実習 I（通年科目）
	後期			◎ 教育実習 I（通年科目）	◎ 教育実習 I（通年科目） ◎ 教職実践演習（中・高）
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				◎ 情報科教育法 a ◎ 情報科教育法 c	
				◎ 情報科教育法 b ◎ 情報科教育法 d	
標 目 達 到	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・本学における教職課程・教員養成等に関わる教育理念について理解を深める。 ・教職ガイダンスへの参加姿勢、履修カルテの意義・記入方法について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達と教育、学習のメカニズム、学習課程や動機づけなど教育心理学の基礎知識を習得する。 ・教育に関わる行政の基本的事項について理解を深める。 ・自らの情報リテラシーと科学的リテラシーを高め、数学科教育に関わるための基礎的な考え方を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の数学科教員としての必要な人間性と知識及び技術を身に付け、実践的な教科の指導力の充実を図る。 ・教育相談、特別支援教育に関する理解を深める。 ・教育実習に必要な情報科教育の基礎基本及び数学科教員としての基礎的な力量を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科教員としての指導技能・資質を身に付け、自信を持って教育実習に臨むことができる。 ・教育実習によって浮彫にされた課題を整理し、後期の「教職実践演習」に活かすといった向上を図る。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念、教育に関する歴史及び思想について理解を深める。 ・履修カルテの点検・自己評価を通し、教員像を構築させ、自らのキャリア形成をしていくための課題について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を展開するための学習指導の方法について理解を深め、学習指導案を作成する能力を身につける。 ・数学科教育の意義を理解し、高等学校の情報科教員としての必要な知識と技術を身に付けることができる。 ・履修カルテの点検・自己評価を通し、数学科教員としての生き方を探求し、自らのキャリアを形成していくための資質・能力を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発達段階に応じた生徒指導の在り方、主体的に進路を選択する能力・態度の育成について理解を深め、具体的な方法について考えることができる。 ・情報モラル及び ICT 教育の専門知識を修得し、数学科教育を通して創造性豊かな生徒を育てる具体的な方法について考えることができる。 ・履修カルテの点検、自己評価を通し、使命感を持った教員になるための資質と心構えを体得することができる。 ・模擬授業を通して、数学科教員としての必要な基本的な指導技能・資質並びに情報科教員の役割とその責務を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学4年間で学んだ知識や理論、そして教育実習でできた教科指導力や生徒指導力などの実践の知を、さらに有機的統合を図り、教職への確かな自覚を培い、教師としての資質能力の構築とその確認を行う。 ・「教職実践演習」を通して、教員としての教科指導力を身につけさせ、自信を持って教壇に立てるようにする。 ・履修カルテにより、教職課程の取組状況の総点検を行い、自ら改善できるようにする。